



# 校長室だより

校長 菅原 定志

## できることを探す毎日

2学期が始まって3週間が経とうとしています。毎日の厳しい残暑に、早く涼しくなって欲しいと願っています(寒い時には早く夏よこいと願っていたはずなのに・・・)。

2学期に入って、大きな行事がありました。一つ目は、8月29日(土)に行った運動会。たくさんの保護者の皆様にご来校いただき、ありがとうございました。お子さんたちは、1学期から実行委員会を組織し、運動会の準備にあたってきました。短い練習期間ではありましたが、今年最初の大きな行事を成功させようと頑張りました。開会式、閉会式での挨拶は、校長を除いて全てノ一原稿でした(校長として反省しています)。自分の考えや思いを伝えようと原稿を見ないで堂々と話している生徒の姿に感激しました。競技や係の仕事も一生懸命に行っていました。

二つ目は、9月2日(水)から2泊3日で行った修学旅行。本来であれば、5月に東京方面へ行く予定でしたが、方面も北海道の函館に変更し、3年生全員で行ってこることができました。

行事を実施するにあたり、必ずついて回るのが「新型コロナウイルス感染症対策」です。運動会は、半日開催とし、校庭の各所に手指消毒液を配置しながら行いました。さらに、当日は36.5℃という猛暑に襲われ、感染症対策と熱中症対策という2つの対策をとらなければなりません。修学旅行は、集団で行動すること、泊を伴うことから、さらに対策が必要でした。実施してよいのか、実施できるのか、方面はこれでよいのかなど、毎日悩み続けていました。

「できない理由を探すより、どうすればできるかを探す」。この言葉を自分に言い聞かせていました。何をしても、新型コロナウイルスの感染リスクをゼロにすることはできません。校長として、3月から5月末までの3ヶ月の臨時休業で失った時間や行事を、少しでも味わわせてあげたい、そのために、何をすればよいのかを探し続けようと思いながら毎日を過ごしています。

今回2つの行事を行ったことで、分かったことがあります。それは、保護者の皆様のご理解とご協力があったからこそ、この2つの行事ができたということです。保護者の皆さんも、本当に運動会はできるのか、修学旅行はできるのかとご心配だったことと思います。しかし、日頃からご家庭でのお子さんの体調管理、マスク着用などの新しい生活様式の徹底がなされていたからこそ、これらの行事が無事終了することができたのだと思います。

先日、気仙沼市・南三陸町の中学校長の会議があり、本校の修学旅行について少し話をしてきました。健康チェックカードに体温と体調について2週間前から記入させ、出発時にはパスポートと同様に提出させたこと、my体温計を持参させ、朝晩、時には昼も検温させ報告させたこと、そのことが体調の自己管理につながったこと、旅行中に新型コロナウイルスが発症した場合の保険がありその保険に入って行ったこと・・・。

学校は学びの場であるとともに集団活動の場でもあります。これまでも学校行事で大きく成長した子どもたちをたくさん見てきました。これからも、「どうすればできるのか」を探し続けて行きたいと思います。